



2023年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年5月11日

上場会社名 株式会社Amazia
コード番号 4424 URL <https://amazia.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 亮輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 神津 光良

TEL 03-6427-8856

四半期報告書提出予定日 2023年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家及びアナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の業績(2022年10月1日～2023年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	2,498	26.9	56		53		59	
2022年9月期第2四半期	3,419	6.2	7		4	99.0	4	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	9.11	9.01
2022年9月期第2四半期	0.70	

(注) 1. 2023年9月期第2四半期の経常利益の対前年同四半期増減率は1,000%を超えるため、「-」と記載しております。

2. 2022年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	2,741	1,996	70.2
2022年9月期	2,864	2,041	66.1

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 1,924百万円 2022年9月期 1,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期		0.00		0.00	0.00
2023年9月期		0.00			
2023年9月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,820	26.4	0	99.2	0	100.0	21	48.0	3.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期2Q	6,754,600 株	2022年9月期	6,754,600 株
期末自己株式数	2023年9月期2Q	180,504 株	2022年9月期	143,599 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期2Q	6,577,090 株	2022年9月期2Q	6,736,424 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は、2023年5月12日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

この説明会で使用する決算説明資料につきましては、TDnetで本決算短信と同時に開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社が属する電子書籍市場規模は、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2022」によると、2021年度の電子書籍市場（電子書籍＋電子雑誌）規模は5,510億円と推計され、2020年度の4,821億円から689億円（14.3%）増加し、2026年度には8,000億円を超える市場に成長すると予測されています。また、2021年度のマンガアプリ広告収益市場規模は、前年と同額の260億円であるものの、2022年度には270億円に増加すると予測されており、アプリでマンガを楽しむユーザーは、引き続き増加傾向にあります。

一方で、電子書籍のビジネスモデルの多様化や成熟によって電子書籍市場が徐々に飽和していくことも想定されます。また、引き続き厳しい競争環境や世界経済の停滞及び国内のインフレにより、アクティブユーザー数の伸び悩みや1人当たり課金売上の低下をもたらしていることに加え、広告市況の悪化により広告単価が低下したため、広告収益が減少しました。

このような市場、経営環境の中で当社は、「マンガBANG!」の主力であるフリーミアムモデル（注）のコーナーにおいて、配信される作品の差別化を図るために、出版社との信頼関係を深化させ、先行配信や人気作品の配信数の増加に努めるとともに、オリジナル作品の制作も強化しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は2,498,280千円（前年同四半期比26.9%減）、営業利益は56,148千円（前年同四半期は営業損失7,971千円）、経常利益は53,525千円（前年同四半期比1,128.3%増）、四半期純利益は59,947千円（前年同四半期は四半期純損失4,715千円）となりました。

なお、当社はマンガアプリ事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしておりません。

（注）フリーミアムモデル：基本的なサービスはすべて無料で提供し、一部の機能を有料で提供するビジネスモデル。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

（資産）

当第2四半期会計期間末における総資産は2,741,547千円となり、前事業年度末に比べ122,644千円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が70,484千円増加した一方、現金及び預金が138,848千円、売掛金が18,753千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期会計期間末における負債合計は744,711千円となり、前事業年度末に比べ78,170千円減少いたしました。これは主に、買掛金が67,882千円、未払法人税等が19,270千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産は1,996,835千円となり、前事業年度末に比べ44,474千円減少いたしました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が59,947千円増加した一方、新株予約権が75,767千円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ138,848千円減少し、1,592,798千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは23,472千円の支出（前年同四半期は25,811千円の収入）となりました。その主な要因は、税引前当期純利益の計上53,525千円により資金が増加した一方で、仕入債務の減少67,882千円により資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは86,530千円の支出（前年同四半期は114,663千円の支出）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出72,356千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは28,844千円の支出（前年同四半期は1,920千円の収入）となりました。その主な要因は、自己株式の取得による支出28,814千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期（2022年10月1日～2023年9月30日）の業績予想につきましては、本日（2023年5月11日）公表いたしました「2023年9月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異、通期業績予想の修正及び営業利益の計上（販売費及び一般管理費の減少）に関するお知らせ」をご参照ください。

当該業績予想につきましては、公表時点において、新型コロナウイルス感染症による経済への影響を含む入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。今後、業績予想に変更があった場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,731,646	1,592,798
売掛金	679,922	661,168
コンテンツ	5,423	16,047
その他	146,666	80,242
流動資産合計	2,563,659	2,350,257
固定資産		
有形固定資産	11,111	81,595
投資その他の資産		
敷金及び保証金	178,647	192,231
その他	110,774	117,462
投資その他の資産合計	289,421	309,693
固定資産合計	300,532	391,289
資産合計	2,864,191	2,741,547
負債の部		
流動負債		
買掛金	321,875	253,992
未払金	270,489	260,139
未払法人税等	23,204	3,933
引当金	2,400	930
その他	204,913	225,716
流動負債合計	822,882	744,711
負債合計	822,882	744,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	366,004	366,004
資本剰余金	362,290	362,290
利益剰余金	1,268,777	1,328,724
自己株式	△103,693	△132,346
株主資本合計	1,893,379	1,924,673
新株予約権	147,929	72,162
純資産合計	2,041,309	1,996,835
負債純資産合計	2,864,191	2,741,547

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年10月1日 至2022年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)
売上高	3,419,864	2,498,280
売上原価	2,176,606	1,680,582
売上総利益	1,243,257	817,697
販売費及び一般管理費	1,251,229	761,549
営業利益又は営業損失(△)	△7,971	56,148
営業外収益		
受取利息	9	8
為替差益	8,792	-
受取手数料	2,849	2,091
その他	753	23
営業外収益合計	12,404	2,124
営業外費用		
為替差損	-	4,556
株式交付費	60	30
支払手数料	-	160
その他	15	-
営業外費用合計	75	4,747
経常利益	4,357	53,525
税引前四半期純利益	4,357	53,525
法人税等	9,072	△6,421
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,715	59,947

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	4,357	53,525
減価償却費	1,829	1,871
差入保証金償却額	703	589
賞与引当金の増減額(△は減少)	△620	△1,470
受取利息	△9	△8
支払手数料	-	160
株式交付費	60	30
株式報酬費用	24,529	△75,767
売上債権の増減額(△は増加)	63,924	18,753
前受金の増減額(△は減少)	6,067	20,108
仕入債務の増減額(△は減少)	△42,823	△67,882
未払金の増減額(△は減少)	△144,947	△10,350
その他	29,044	26,871
小計	△57,882	△33,567
利息の受取額	9	8
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	83,684	△19,025
その他	-	29,111
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,811	△23,472
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△49,999	-
有形固定資産の取得による支出	△2,428	△72,356
敷金及び保証金の差入による支出	△62,265	△14,174
その他	30	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114,663	△86,530
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,920	-
自己株式の取得による支出	-	△28,814
その他	-	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,920	△28,844
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△86,932	△138,848
現金及び現金同等物の期首残高	1,899,544	1,731,646
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,812,612	1,592,798

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、当第2四半期累計期間において投資信託等を保有していないため、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(新株予約権の見積りの変更)

当第2四半期会計期間末において、第6回新株予約権について権利不確定による失効数の見積りを変更しました。

この結果、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ95,973千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、マンガアプリ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント
	マンガアプリ事業
ユーザー向け	2,299,938
法人向け	1,119,926
顧客との契約から生じる収益	3,419,864
その他の収益	-
外部顧客への売上高	3,419,864

当第2四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント
	マンガアプリ事業
ユーザー向け	1,712,504
法人向け	785,775
顧客との契約から生じる収益	2,498,280
その他の収益	-
外部顧客への売上高	2,498,280